

選ばれる会社から応援され続ける会社へ

社会環境は、SDGsに代表される持続性とダイバーシティー多様性の二つが求められています。企業のCSRとしての取り組みが最も重要な経営課題となっています。

錦城護謨におけるCSRとは、当社の三事業における

「モノづくり、土地づくり、空間づくり」

産み出す事で世の中を笑顔に変えるというコアパースの元、持続性、多様性の達成に貢献する事であります。外部に向けたアウトプットとしての貢献だけでなく、内部に向けた人材育成としての貢献の両面があると考えています。

当社の大事にする信条である「4つの心 情熱、勇気、素直、謙虚」を通して、人づくりに取り組む事で、人が成長し、アウトプットの成長に繋がっていくものと考えております。

CSR活動をより積極的に推進するため、そして世界的な視野、基準において、この活動に取り組みたいという強い意志の表れとして2010年に国連グローバル・コンパクトに署名致しました。

自社を磨く事で、お客様に選ばれる会社から、

「何を指すのか」

「何を貢献するのか」

「何のために存在するのか」

我々の目指す未来が社内外から応援され続ける会社にアップグレードする事こそ、錦城護謨が考えるCSR活動であります。

これからもさらなる高みを目指し、成長していきます。

代表取締役社長

太田泰造

国連グローバル・コンパクトとは



Network Japan
WE SUPPORT

国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。

UNGC に署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続しています。

国連グローバル・コンパクトの10 原則

人権	原則 1 人権擁護の支持と尊重
	原則 2 人権侵害への非加担
労働	原則 3 結社の自由と団体交渉権の承認
	原則 4 強制労働の排除
	原則 5 児童労働の実効的な廃止
	原則 6 雇用と職業の差別撤廃
環境	原則 7 環境問題の予防的アプローチ
	原則 8 環境に対する責任のイニシアティブ
	原則 9 環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



弊社は地域社会との関わりを大切にしております。

周辺地域の清掃活動



周辺地域の清掃活動を行っています。

盲学校卒業式への協力



盲学校の卒業式で「HODOHKUN Guideway」が誘導路として使用されました。

高校キャリア教育への協力



地域の高校にてキャリア教育講義を行いました。

工科高校のインターンシップ受入



地域の工科高校のインターンシップ受入を実施しました。

中学校職場体験受入



地域の中学校からの職場体験を受け入れました。

地元自治体との避難訓練実施



地元自治体と連携しての避難訓練を実施しました。

地域貢献プロジェクトへの参加



副理事として八尾市の魅力を伝えるプロジェクト“みせるばやお”に参加しています。

各種スポーツ施設・団体への応援



各種スポーツ施設・団体への協賛・協力を行っています。

- ▶ 八尾市魅力満載BOOK「Wao!Yao!八尾の入り口」へ掲載協力
- ▶ インターネットTV「FC大阪TVwithスポニチプラザ FRESH!」の八尾市スペシャルに放映協力
- ▶ 小学校の工場見学実施
- ▶ “みせるばやお”に理事メンバーとして協力（“みせるばやお”ホームページ）
- ▶ パラスポーツサポートに継続取組み

今後も地域の皆様との繋がりを大切に、共に発展していける企業を目指します。

障がい者スポーツ大会への協賛・協力

◎ ページのトップへもどる

錦城機設では、障がい者スポーツ大会への協賛・協力を実施しています。大会期間中に受付やコート配置にあわせて誘導路を貸し出すと共に設置協力を行っています。

日本ブラインドテニス大会を始め、フロアバレーボール大会、日本身体障がい者水泳選手権大会、国際・国内車いすテニストーナメントなど様々な大会を応援しています。また東京都障がい者スポーツ大会合同開会式や国体のサウンドテーブルテニス会場でもご利用いただいています。



スポーツ庁より感謝状を受賞しました

◎ ページのトップへもどる

平成29年7月14日に、スポーツ庁長官室にて、障害者スポーツ団体への支援を実施したことに対して、鈴木大地スポーツ庁長官より感謝状が授与されました。

スポーツ庁では、多くの障害者スポーツ団体が日常活動等への支援を必要としている現状を民間企業等に周知し、団体への支援を要請する取組を進めています。

錦城機設株式会社は、日本ブラインドテニス連盟に対する支援として、同連盟の主催する大会において、視覚障がい者歩行誘導ソフトマットを提供しました。平成29年6月3日から4日に茨城県つくば市で関東ブラインドテニス茨城オープン大会が行われ、視覚障がい者歩行誘導ソフトマットで会場誘導をサポートしました。大会当日は、お手伝いを申し出るスタッフに「ありがとうございます。マットがあるので大丈夫です。」と話され、単独歩行をされている選手もいらっしゃいました。

弊社は、日本ブラインドテニス連盟の主催する大会において同様の支援を今後も継続して参ります。

また今後も、健常者にも障がい者にも優しいユニバーサルデザインに基づいた「安心・安全なものづくり」に真摯に取り組み、皆様の暮らしに貢献して参ります。



文部科学省認定障害者スポーツ支援企業

[プレスリリースの全文はこちら \(PDFファイル\)](#)

障がい者スポーツ施設への導入

◎ ページのトップへもどる

東京都障害者総合スポーツセンターや長居障害者スポーツセンターなど、障がい者スポーツ施設への誘導マット導入も進んでおります。



働きやすい明るい職場を目指します。

女性社員を対象とした研修の実施



顧客満足の更なる向上を目指し、社員一人ひとりが企業人としての意識を持ち、よりよい人間関係を構築するための手段としてマナーが存在します。

弊社では女性社員を研修講師としてマナー向上に向けた研修に取り組んでいます。

風通しの良い職場



弊社ではトップと社員が直接コミュニケーションする交流の場を設けています。また風通しのよい職場作りを目指すために社内に投書箱を設置しています。

災害発生時対応のための教育



弊社では万一災害が発生した場合に備え、社員への教育訓練を行っています。専門業者に研修を依頼し、正しく速やかな対応ができるよう知識を取り入れています。

働きやすい工場づくり



毎朝の清掃や、お客様はもちろん社員同士の挨拶を大切に、働きやすい工場を目指しています。社員ひとりひとりが改善を積み重ね、進化し続ける職場づくりに取り組んでいます。

- ▶ 地域の工業高校卒業生の積極的採用の実施。
- ▶ 女性スタッフの採用を推進。
- ▶ 管理者層への労務管理研修の実施。
- ▶ 障がいのある人にやさしい商品開発。

[視覚障がい者向け歩行誘導マット「HODOHKUN Guideway」の開発についてくわしくはこちら](#)

環境への具体的な取り組みについて一部を紹介いたします。

CO₂総排出量削減

原単位



- ▶ 省エネ生産設備の積極投入を進めています。
- ▶ 省エネタイプのゴム成形商品の拡販を積極的に展開しています。

歩留り改善活動

ゴム購入量／売上(原単位)



- ▶ 商品構成の大幅な変動により重量比率が増加しています。
- ▶ 不良低減活動の推進により工程不良は低減しています。

企業は一般社会人と同様に社会の中に存在し社会に対して責任を負う。錦城護謨株式会社ではこの理念のもとに企業の社会的責任：CSR（Corporate Social Responsibility）を全うすべく、単なる法令や法規の遵守のみに限らず社会規範や社員規定、企業倫理：Business Ethics も含めた広義の意味でのコンプライアンス：Compliance（法の遵守）に取り組んでいます。

2008年にはトップ自らが法の遵守と高い倫理観に基づく行動の実践を謳った「社内行動規範」を制定し、1. 基本的人権の尊重、2. オープン、フェア、クリアな事業活動、3. 会社資産・情報の保全、保護、4. 環境の保全・保護の実現に向けての活動をおこなっています。

主な活動としては下記の通りとなります。

1. 基本的人権の尊重

基本的人権の分野においては、人権を尊重した採用活動、昇進、給与査定、福利厚生、研修等における人種、思想信条、宗教、年齢、性別による差別廃止と公正な取扱いへの取り組み。

2. オープン、フェア、クリアな事業活動

オープン、フェア、クリアな事業活動としてはメール受付、意見箱の設置による内部通報システムの構築。社内情報システムやインターネット利用の為の倫理規定の制定と新卒研修時でのCSR研修のプログラム化、セルフチェックシート等を使った情報セキュリティ教育及び啓蒙活動。取引先との基本契約書へのCSR項目の記載等の実施。

3. 会社資産・情報の保全、保護

会社資産・情報の保全、保護の分野については構内、部署ごとにセキュリティ・レベルのアセスメントを行い部外者立ち入り禁止場所等の区分分けとステッカー等による貼り出しによる見える（周知）化の実施。また自社の秘密情報だけに止まらず、他者の知的財産や個人情報の保護も含めた第三者の財産権の積極的保護活動への取り組み。

4. 環境の保全・保護の実現に向けての活動

環境の保全・保護においては環境負荷削減・低減、廃棄物規制、化学物質規制、公害防止への積極的な取り組み。

更に錦城護謨株式会社では「責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な企業」として国連グローバル・コンパクト（UNGC）に2010年にいち早く参画し人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業としても活動を積極的におこなっています。